

講義ユニット名	輸血医学		所属科目名	器官・システム病態制御学Ⅱ
講義ユニット 責任者	ふじい てるひさ 藤井 輝久	所属	病院輸血部 (内線 2389)	
		メール	teruchan@hiroshima-u.ac.jp	
講義ユニット コーディネーター	ふじい てるひさ 藤井 輝久	所属	病院輸血部 (内線 2389)	
		メール	teruchan@hiroshima-u.ac.jp	
授業方法	講義形式ではあるが、パワーポイントを使用して、Q&A形式で行う。			
概要	医療を行う上で、輸血医学の重要性は高まっている。その背景として輸血用血液が献血によりまかなわれており、日本は慢性的な供給不足に陥っている。また薬剤のように加工することも困難であり、感染症などの様々な副作用を来す。輸血を安全で適正かつ有効に使用・利用するために必要な知識を4回にまとめた。			
講義ユニットの 到達目標	血液製剤及び血漿分画製剤の種類と適応を説明できる。 血液型 (ABO, RhD) 検査、血液交差適合 (クロスマッチ) 試験、不規則抗体検査を説明できる。 輸血副反応、輸血使用記録保管義務、不適合輸血の防止手順を説明できる。 輸血の適正使用、成分輸血、自己血輸血、緊急時の輸血を説明できる。			
講義日程	別紙日程表を参照のこと			
出席の取り扱い	出席状況把握システムにて毎講義出席をとる。 出席の取り扱いについては、血液学に準ずる。			
評価項目	到達目標の達成度 (基本的理解と知識の応用)			
評価法	試験 (国家試験形式、血液学と合同)			
推奨参考書	よくわかる輸血学 (大久保光夫, 前田平生編, 羊土社) 輸血学テキスト (大坂顕通編 中外医学社) 日本輸血・細胞治療学会HP http://www.jstmct.or.jp/jstmct/ のe-learning			